

By air mail
Par avion

Anno Domini 2020
MERRY CHRISTMAS!!



NY周辺邦人宣教の 同労者の皆様へ、



預言者エレミヤはユダの民に、自分たちを滅ぼした「バビロンの王に仕えて生きよ」との信じがたい主の命令を伝えましたが、2020年、私たちはコロナ禍の中であって尚、主に信頼するよう求められてきました。その結果、困難はありましたが、思ってもみない多くの恵みもいただく年になりました。年明けからいよいよ宣教師交代、新しい時代に入ります。メンバーたちの証と抱負、皆様への感謝とお願いを、今年もお届けします。

LMI世界宣教会宣教師/NYめぐみ教会
立石尚志・聖美

From
New York



2020年11月ZOOMウェルカム礼拝

クリスマスおめでとうございます。昨年、受洗後初めてのクリスマスを心からの喜びと希望をもって迎えた感動を思い出します。キリスト教との出会いから30年以上を経て、ここニューヨークで立石先生ご夫妻との出会いが与えられ、お二人を通して御言葉の真の意味を学びました。そして、神様の赦しを知り、その御業に接し、それまでの苦しみから癒され、新しい人生を歩み始めることができました。この恵みにあずかる



高田千鶴子 (教会員)

いつも変わらぬご支援とお祈りに覚えていただき感謝いたします。米国が世界最大のコロナ感染国となっている中であって、私たちの礼拝では日本より立石牧師にメッセージを取り次いでいただき、教会メンバーの一部が礼拝室に集まり司会、賛美をオンラインで配信しています。コロナ前、礼拝は10名程でしたが、オンラインになったことで今は25名程になりました。すべてをご存知の神様に信頼してコロナ禍の中にあっても一人でも多くの方々が神様のことを知ることが出来るよう祈っていききたいと思えます。



山崎 淳 (教会員副代表)

主の御名を賛美します。今年も立石先生ご夫妻がアメリカでの長年の奉仕を終えて帰国されました。今までこのミニストリーを支えてくださった神様と支援者の皆様、心より感謝します。さらに感謝なことに、次期牧師として奉仕して下さる笹川先生がこちらに来られる準備をされています。コロナ禍でヴィザ取得がなかなかできない状況ですが、全ての必要が満たされ、来年早々に来られることが出来そうです。日々祈っております。どうか日本の支援者の皆様、良いクリスマスと新年をお迎えください。



和泉 宏典 (教会員代表)



笹川雅弘・由利子

クリスマスおめでとうございます。この度、2021年1月1日を区切りに私たちは在米邦人宣教師としての働きを開始します。米国大使館のビザ発給業務の大幅な遅れにより渡米時期が未だ不透明ですが、立石尚志先生が七月以来行って来られたオンライン遠隔宣教を、1月より全面的に引き継ぎ、現教会員と共に歩んで参ります。私たちもNYめぐみ教会の主日礼拝に毎週ZOOMで参加し、9月より月一度のウェルカム礼拝でのメッセージを担当し、英語バイブルクラスや信徒会にも顔を出させていただいており、気持ち的にはすでにNYめぐみ教会の一員となっています。深刻なコロナ禍の中、尚多くの困難がありますが、引き続き末永く、お祈り、ご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。クリスマスの喜びとともに皆様の上に主の守りと祝福が豊かにありますように。心からの感謝とともに。■

立石尚志先生が七月以来行って来られたオンライン遠隔宣教を、1月より全面的に引き継ぎ、現教会員と共に歩んで参ります。私たちもNYめぐみ教会の主日礼拝に毎週ZOOMで参加し、9月より月一度のウェルカム礼拝でのメッセージを担当し、英語バイブルクラスや信徒会にも顔を出させていただいており、気持ち的にはすでにNYめぐみ教会の一員となっています。深刻なコロナ禍の中、尚多くの困難がありますが、引き続き末永く、お祈り、ご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。クリスマスの喜びとともに皆様の上に主の守りと祝福が豊かにありますように。心からの感謝とともに。■



井上幸子 (教会員)

ことができたのも、皆様の長きにわたるお祈りとご支援のおかげと感謝の気持ちで一杯です。日本の皆様、何時もご支援頂き、有難う御座います。コロナ騒ぎの中、クリスマス、新年を迎えようとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか。立石先生はご帰国、笹川先生は渡米遅延という中で、異例の年となりました。笹川先生のお越しの早からんことを祈っています。私も96歳を迎え、神様に守られて生活出来て感謝です。(姉は一人でZOOMを操作されます！)



山崎 真由美 (教会員)

今年は3月半ばにいち早くZoom礼拝を導入して毎週、礼拝の恵みに与ってきました。先生の帰国後も礼拝だけでなく、英語バイブルクラスやゴスペル同窓会などで未信者の方たちとの交友を続けることができ、その中から感謝なことに、もっと聖書について知りたいという方々も何人かおられ、笹川先生に1日も早くいらしてほしいとの思いが募っています。



畑野 晃子 (教会員)

ハレルヤ！主の御名を褒め称えます。2020年は思ってもみなかった年になりましたが、私自身は改めて家族とともに過ごす時間に感謝する機会を与えられています。教会もオンラインでの礼拝や学び会、祈り会が行われており、いかなる状況の下でも主にある交わりが継続されていることにも感謝を覚えます。主の定められた最善の時期に笹川先生の派遣が実現することを信じて、待ち望みつつ。



蔭山 うらら (礼拝出席者)

私はコネチカット州に暮らしています。88にもなり、年齢と共に心細いことも多々ありますが、立石先生が帰日されたあとも、教会を通して神様の御翼のもと、心安らかに生かしていただいています。予期せぬ大変な時代に突入した昨今を見て、神の偉大な御業を思い、待たれる事

しきりです。皆様の御健康を願いつつ。



ハッチングス 広子 (リッジウェイ)

2月に帰国された聖美さんが本当は5月にはNYに一時戻られ、最後に長年共に祈ってきた姉妹たちとお別れ会をする予定でしたが、実現に至らず、とても残念です。立石先生ご夫妻のグリニッチ、NYでのお働きに心から感謝し、お二人が霊肉共に守られ、日本での今後のお働きに主の大きな祝福がありますように祈り続けます。ご夫妻のお働きを長年ご支援いただいた皆様、本当に有難うございました。メリークリスマス！



テイラー 麻生子 (HF集会)

パンデミックになったことで、遠くてなかなか行けなかっためぐみ教会の礼拝もオンラインで参加できるようになり、毎週の祈禱会や聖研でもオンラインで皆で顔を合わせて御言葉を共に学び、祈り合いう中で、主は私達を励まし、今の困難を乗り越えられるように整えて下さっています。ひたすら感謝で一杯です。今後も引き続き、めぐみ教会のために、特に笹川先生が無事に遣わされるようお祈り頂ければ嬉しいです。



グリマーソーレム 美和 (HF集会)

今年のアメリカは、パンデミック、人種問題、大統領選挙など波乱の中にありましたが、このような時だからこそいただいた主の恵みに感謝しています。礼拝や

勉強会がオンラインで繋がれている事、

時差や距離を超え、輪が広がり、共に祈れる事にも主の愛を見ます。共に賛美を捧げる時、「早く牧師ご夫妻との家庭集会に行きたい！」と思われ、笹川先生ご夫妻の派遣導きをお祈りさせられます。主のために声を合わせ、学び、触れあえるのを心待ちにしています！



ケイフオード 貴久子 (HF集会)

恵み深い主の御名を感謝いたします。ハートフォード集会で立石先生ご夫妻の導きによつて信仰の成長が守られている事を本当に感謝致します。海外にいて日本語による説教はとても深く心に響き渡ります。皆様の支援によつて、海外にいる私たちの信仰が養われ、御言葉の理解がより深く根を張っていく事に心から感謝致します。今年のクリスマスも皆様にとつて、神様と共に平安と恵み豊かな時でありますようにお祈りしています。



ダーリン 貴子 (HF集会)

私はアメリカに移住して24年、コネチカット州に住んでから既に20年目になりました。ハートフォード集会で立石牧師夫妻に出会い、2017年に洗礼を受け、日々、主が共におられる事の喜びを感じています。日本の皆様が支援してくださったおかげで今の私があります。心から感謝致します。今年はコロナ禍で人との直接の交流が困難になりましたが、今まで遠くで参加できなかっためぐみ教

会の礼拝にも参加するようになり、日本語で主のメッセージが聞ける素晴らしいことに感謝しています。アメリカ在住の日本人の方々に主のメッセージが届くよう、また後任の笹川先生ご夫妻が無事、めぐみ教会に派遣される事を覚えてお祈りします。皆様の祝福をお祈りして。



篠原 章子 (HF集会)

2021年にアメリカに移り住みました。その後ハートフォード集会のダビデの会に参加して2021年6月に立石先生に洗礼式を執り行って頂きました。しかしながら忙しさにまぎれて集会などから離れてしまい、恥じ入るばかりで戻るきっかけを失っていましたが、昨年末、キリスト教徒であった父が他界し、私の過ちに気づかされました。コロナ禍でのオンライン集会、めぐみ教会の礼拝参加、そして何よりハートフォード集会の姉妹たちの絶え間ない励ましを通して、改めて主の愛に気づかされ、立ち返られました。今一層主の教えを心に留めて、毎日祈りと感謝をささげる日々を過ごしています。主の愛と祝福が皆さまの上にありますよう、そして皆さまがお元気でクリスマスと新年を迎えられますよう、そして一日も早く、笹川先生ご夫妻がこちらにいられますようお祈りいたします。■

